

## 目次

### 匝瑳市ハザードマップの発刊にあたって

近年、予想を超える地震災害や、集中豪雨による水害・土砂災害などが全国各地で頻発しています。

本市におきましても、令和元年に上陸した房総半島台風や東日本台風などの記録的な暴風雨により、長期間にわたる停電や多数の住家被害など、甚大な被害が発生したことは記憶に新しいところです。

自然災害はいつ、どこで起きるか分かりません。非常に備え、日頃から災害に対する高い意識と万全の対策を心掛けることが大切です。

この度、市が作成した「匝瑳市ハザードマップ」は、平成31年3月に発行したマップの改訂を行ったもので、いざという時に迅速かつ的確に避難ができるよう、想定最大規模の降雨による借当川浸水想定区域や、新たに指定を受けた土砂災害警戒区域など、最新の情報を掲載しました。

是非、ご家庭やお住まいの地域の皆様で、このマップをご活用いただき、災害に対する認識を深め、日頃の防災対策に役立てていただきたいと考えております。

災害に強いまちづくりを目指し、より一層、地域の防災・減災対策に取り組んで参りますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



令和3年2月 匝瑳市長 太田 安規

非常持出品リスト／警戒レベルの5段階区分	2
津波災害	3
風水害・土砂災害	4
指定緊急避難場所	5
指定避難所〔一次避難所・二次避難所〕 津波避難タワー	6
町名索引	7
全域図(索引図)・凡例	8
詳細マップ	
エリア1	9・10
エリア2	11・12
エリア3	13・14
エリア4	15・16
エリア5	17・18
エリア6	19・20
エリア7	21・22
防災メモ／防災関係機関／災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板	裏表紙

## 非常持出品リスト

### 事前に確認

### 準備ができたら□にチェックしましょう。

非常持出品の重さの目安は、男性15kg、女性10kg程度にしましょう。

せっかく揃えた持出品も定期的に点検しないと使用できない場合があります。電池の使用期限や缶詰などの賞味期限等を、半年に一度ぐらいは点検しましょう。

### 貴重品

- 現金(10円硬貨があると公衆電話に便利)
- 預金通帳、印鑑
- 免許証、保険証、権利証書など

### 非常食品・飲料水

- 飲料水3日分以上(1人1日3リットルが目安)
- 乾パン、缶詰など(火を通さなくて食べられるもの)
- アメ、チョコレートなど
- 粉ミルク、離乳食

### その他

- 懐中電灯、予備電池
- 携帯ラジオ・予備電池
- 防災ずきん・ヘルメット
- 携帯電話、充電器
- ロープ
- マッチ、ライター、ろうそく
- ナイフ
- 筆記用具

### 「定期的なチェック」を忘れずに

非常持出品は半年に1回程度、中身を点検しましょう。飲料水や非常食の賞味期限・消費期限のチェックをはじめ、医薬品などの使用期限、電池切れなどの確認は重要です。

また、家族構成や健康状態の変化などによって必要となるものや量が変わってきます。いったん準備してもそれで安心せず、定期的な見直しを忘れずに行いましょう。



### 救急医薬品・常備薬

- ばんそうこう
- 体温計
- ガーゼ、包帯、三角巾など
- 感染症対策用品(マスク、アルコール消毒液など)
- 傷薬、消毒薬、胃腸薬、解熱剤など
- 持病のある人は常備薬など
- 毛抜き、綿棒、爪切り、カミソリ、安全ピン

### 衣類など

- 下着、セーター、ジャンパーなどの上着
- タオル
- 軍手、手袋、くつ下など
- レインコート

### 生活用品など

- ティッシュペーパー・トイレットペーパー
- ウェットティッシュ
- 洗面用具
- 簡易トイレ
- ビニール袋(45L、90Lなど大型のもの)
- 生理用品、紙おむつ、ほ乳瓶など

### 非常食を「回転させながら」備蓄する「ローリングストック」

非常食は袋や棚の奥にしまいこんだままにしておくと、気づかぬうちに賞味期限や消費期限が切れていることがあります。

そんな無駄を防ぐためにおすすめのが、非常食を普段の食材ストックの延長と考える「回転備蓄(ローリングストック)」といわれる方法です。

新しく缶詰を買ったらそれをいちばん奥にしまい、押し出された古い缶詰を先に食べるといたたサイクルをつくり、消費と補充のバランスをとります。日ごろから非常食を食べる習慣があれば、栄養の偏らない非常食の品ぞろえを考えるのにも役立ちます。



## 警戒レベルの5段階区分

警戒レベル5では、すでに災害が発生しています。「警戒レベル3」「警戒レベル4」の段階で、安全・確実に避難しましょう。

警戒レベル	取るべき避難行動	行政が行動を促す情報	警戒レベル相当情報(例)
レベル5	すでに災害が発生している状況です。命を守るために最善の行動を取りましょう。	災害発生情報 (市町村が発令)	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報、大雨特別警報など
レベル4 [全員避難]	速やかに避難先へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、自宅内や近くの安全な場所へ避難しましょう。	避難指示(緊急)、避難勧告 (市町村が発令)	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報、土砂災害警戒情報など
レベル3 [高齢者などは避難]	避難に時間を要する人(高齢者や障がいのある人など)とその支援者は避難しましょう。それ以外の人は、避難準備をしましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 (市町村が発令)	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報、洪水警報など
レベル2	避難に備え、ハザードマップなどで避難先やルートを確認しましょう。	大雨、洪水注意報など (気象庁が発表)	これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報であり、市はその情報を踏まえ、必要に応じて避難勧告などを発令します。
レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)	

\*警戒レベルは1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。